



おおとみ

学校教育目標 『国際社会にたくましく生きる 大富っ子の育成』

発行 山武市立大富小学校
住所 山武市新泉ト60
発行日 令和4年7月20日(水)
文責 教頭 椎名 慶久



『1学期を振り返って』

校長 中津 和美

4月に新入生12名を迎えてスタートした大富小学校令和4年度第1学期が、終了を迎えます。昨年度に続き今学期も、コロナウイルス感染拡大防止に伴う休校や学年閉鎖もなく、78名は楽しくて充実した学校生活を送ることができました。

また、今学期は、授業参観、運動会、草花や菊栽培、校外学習をはじめ、3年ぶりのいちご狩りや水泳学習など、従来からの教育活動を実施することができました。このように大富小学校らしい教育活動が展開できたのは、保護者の皆様の教育活動へのご理解と、家庭での健康管理の徹底へのご協力にあり、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

コロナウイルス感染拡大第7波の流行の兆しがみられ始めています。夏季休業中も健康管理に留意し、お過ごしください。

【朝、校門前で】

児童会（計画委員会）のメンバーが登校してきた友達に手を振って出迎え、子どもたちは嬉しそうに挨拶を交わし、校舎の方へ向かっています。大きな声で挨拶できる子が増えただけでなく、学年を越えて友達を待つ子どもたちの温かさと笑顔に、ほのぼのする毎日です。



【家庭学習の充実】

今学期、大富小では、学力向上の取組の一つとして家庭学習の充実を推進しています。家庭学習の時間は、学年×10分+αと言われているようですが、学校の宿題で終わることなく、自主的な学習や読書が加わることで、子どものもつ可能性をさらに引き出すことができると考えます。子どもが家庭で意欲を見せた時が、ほめるチャンスです。ほめられれば、それはよい行いだと子どもは認識し、自信に繋がります。これからの長い夏季休業を活用して家庭学習を継続していただけるとありがたいです。



『1学期を終えて』

児童会長 6年 坂野 孝輔

ぼくは、今学期から児童会長として、様々な取り組みを行ってきました。

特に力を注いだのは、「あいさつ運動」です。

大きな声であいさつをすると、その日1日を元気に過ごすことができます。

しかし、始めのうちは、なかなか大きな声であいさつを返してくれる人はいませんでした。

そこで、計画委員の中で話し合いを重ね、「あいさつマイスター」を企画しました。すると、少しずつ大きな声であいさつをしてくれる人が増えてきました。

2学期も、全校児童が元気に登校できるように、いろんな取り組みを企画していきたいと思います。

みなさん、お楽しみに。



『学力向上』



基礎・基本の定着を図り、学力の向上につなげていくために、本校では、全校で「計算グランプリ」「漢字グランプリ」を各学期に1回、実施しています。

今学期も子どもたちは、このグランプリに向け、何回も復習を重ね、テストに臨みました。全校のグランプリ優秀賞（満点賞）受賞者数は、次のとおりです。

◇計算グランプリ優秀賞	36人
◇漢字グランプリ優秀賞	32人

また、自己の能力を開花させるために、「学習マイスターになろう」という活動も2学期以降に行っていきます。例えば、これは、国語科で、ことわざや四字熟語を学習し「四字熟語マイスター」「ことわざマイスター」となっていくことです。他の教科でも様々なマイスターを子どもたちに提示し、学習に対する意欲を高めていきます。

『夏休み！ケータイやスマホの使い方に注意しましょう。』



ケータイやスマホを持つと、メッセージを送ったり、ゲームや動画を楽しんだり、使い続けたいくなります。でも、この夏休み、勉強やスポーツ、手伝いなど、やらなくてはいけないことがあるはず。そこで、ケータイやスマホを使う前には、ルールを決めましょう。「夜はリビングで使う」とか、友達どうして「返事はすぐしなくてもよい」「人の悪口は書き込まない」などと決めておくとういす。お子様にとって、本当に必要なのかを相談し、お子様が安全に利用できるようにお願いします。